

Bell Forum

ベルフォーラム

地域と職員とともに栄えるチーム

医療最前線

病院機能評価の受審結果

連載 登録医のご紹介

■ TOPICS

急性期病院の役割を果たすために
新入職医師 紹介
「赤ちゃんにやさしい病院」認定記念講演会を
開催しました

京都水族館

2014
summer
No.44

病院機能評価の 受審結果

病院機能評価とは、診療内容、療養環境、患者サービスの質を第3者機関が審査し、一定水準に達している病院に認定証を発行する制度です。日本医療機能評価機構が行なう病院機能評価は、わが国ではもっとも権威がある医療機能評価です。

当院は、日本医療機能評価機構の病院機能評価（3rdG:Ver1.0）を、2013年11月11日から12日の2日間にわたって受審し、2014年2月7日に同機構より「一般病院2（主として、二次医療圏等の比較的広い地域において急性期医療を中心に地域医療をささえる基幹的病院）」の種別・区分での認定を受けました。

評価を受けた中でも、もっとも秀でているSの評価をいただいた6部門を紹介いたします。



医療安全

「患者の安全確保に向けた取り組み」に対してS評価を頂きました。

サーベイヤーからの結果報告には、「インシデント・アクシデントを報告する風土が形成されており、安全確保に向けた情報収集と検討は、きわめて適切に行われている」と記載されており、その根拠は、月に1000枚以上のインシデント報告件数と、患者さんには全く影響が無いインシデント（レベル0と1）の報告件数の割合が8割を超えているという内容を高く評価していただいたのだと思います。

これは当院の現場スタッフ一人一人の長年にわたる日々の医療安全への取り組みがあつてこそ出せる結果であり、そこを高く評

価されたことに喜びと同時に誇りに思う次第です。

今後も医療安全に対する真摯で実直な取り組みを絶やすことなく、医療安全文化を醸成させていこうと思います。

医療安全管理室 室長 楠本茂雅



インシデント報告全件数の内容を確認し、必要であれば現場への調査を実施します。

医療機器管理

「医療機器管理機能を適切に発揮している」の項目で、Sの評価を頂くことができました。

臨床工学室では、院内全ての医療機器の購入から廃棄までを一元管理しており、そのうち貸出機器約540台に対して、臨床工学

技士による使用中点検を毎日実施し、安全な使用を推進しています。また、全ての機器にマニュアルを付けており、使用方法やアラーム等の対応方法について記載しています。また、当直体制もとっており、24時間365日不具合発生時の即時対応をすることで、休日夜間でも安全な機器使用が可能です。今回の病院機能評価では、「医療機器管理は臨床工学技士が担当し、日常点検、トラブルへの対処、操作訓練などを組織的に実施している」と高く評価して頂きました。

今後も高評価に甘んじることなく、患者さんにとって安全な、職員にとって安心な臨床工学室であるよう努力します。

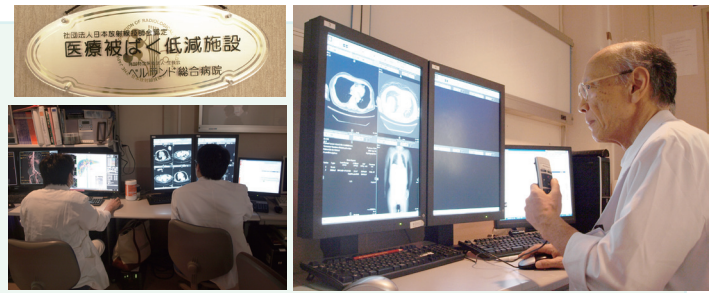
臨床工学室 室長補佐 茨田友香



放射線診断

放射線診断部門では患者さんの安全・安心を明確にするため（公社）、日本診療放射線技師会認定の「医療被ばく低減施設認定」を2006年6月に取得しました。（全国で6番目、関西初）患者さんの被ばくに対する不安を丁寧に取り除き、納得して検査を受けていただけるよう取り組むと共に、全国への情報発信も行っています。低侵襲な放射線診療の提供が高く評価されています。

検査のスムーズな受け入れと迅速な事後対応を心がけており、放射線科レポートは当日に報告書を配信しています。また、医師をはじめ放射線技師も知識向上に対する意識が高く、30種類以上の関連国家資格や認定資格を取得しており、院内の合同カン



ファレンスも定期開催しています。

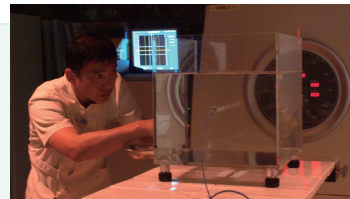
これらの活動が地域との信頼構築に繋がり、500件/月以上の紹介件数を維持しています。地域の基幹的役割を担うリーディング施設としての新たな取り組みに挑戦したいと考えます。

放射線室 主任 小山敦司

放射線治療

病院機能評価の放射線部門は、画像診断部門と放射線治療部門にわかれての評価が行われました。放射線治療は、外科的治療、化学療法と並ぶがん治療の三大柱のひとつですが、集学的治療として他科との連携や、物理学的な照射精度を含んだ品質管理が重要とされています。

今回の訪問審査では、病院の目標である患者さんへの低侵襲で安全な医療の提供を実践するために日々実施している、品質管理・品質保証および第三者機関（医用原子力振興財団）による評価、他部門とのカンファレンスをおこない治療の品質維持を図っていることがSの評価につながりました。



線量測定準備中



新病院に導入される
VARIAN TrueBeam STX

新病院では最新鋭のリニアックの導入が決まっており、各種ガイドラインを十分に理解して線量の最適化、品質管理・品質保証を実施し、高精度放射線治療（IMRT・STIなど）を早急に開始したいと考えます。

放射線室 主任 足立憲司

スタットコール

当院では“救える命をいかに救うか”をモットーに、いつ、どこで発生するかもしれない急変に対応できるよう「緊急招集コール（スタットコール）」を設定しています。急変事態発生時には医師・看護師だけでなく、メディカルスタッフの誰でもが対応できるよう二次救命処置コースを受講し、チームで蘇生処置が行える教育プログラムがあります。特に看護部では救急看護認定看護師によるシミュレーターを使用した“急変シミュレーション教育”に力を注いでいます。

また、院内の救急カートは内容や配置を全館統一し、いざという時にだれもが使いこなせるような配置と、各病室の前には携帯

式ポケットマスクを設置することで、より迅速な救命処置が行えるように工夫しています。

今回、これらの取り組みが高評価につながりました。今後も高度急性期病院として緊急性の高い患者を受け入れるために必要な療養環境づくりにチーム力を発揮していきたいと思えます。

看護部 救急看護認定看護師 山岡恭子

すみやかに蘇生に対応できるように
内容を考慮された救急カート



地域医療連携



当室は地域医療支援病院の地域連携室であることを念頭におき、各医療機関、介護・福祉機関との連携が密接になるよう、積極的な取り組みを行っています。登録医の先生方に戸別訪問する際には出来るだけ診療部長も同行するようにし、医師同士の「顔が見える関係」作りを心掛けています。紹介率、逆紹介率はいず

れも80%近くを維持し、地域の医療従事者対象のセミナー・講習会は、平成25年度は25テーマを開催し、約1500名の延べ参加者を数えました。

「健康塾」は地域住民対象に定例開催しています。病気やその予防法などについて専門医が分かりやすく解説し、好評を頂いています。今後も、登録医や地域住民からのご意見・ご要望には迅速かつ確に対応できる連携室を目指します。

地域医療連携室 室長補佐 中野素宏



登録医のご紹介

ひじい耳鼻咽喉科
院長 肘井 禎卓 先生

耳鼻咽喉科・アレルギー科



血液型：AB型

星座：しし座

趣味：ギター

住所：堺市西区上野芝向ヶ丘町 2-8-2

TEL：072-270-4187

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	○	○	○	×	○	○	×	×
16:00～19:00	○	○	○	×	○	×	×	×

※ 休診日：木・日・祝

Q. 医師を目指したきっかけは？

A. 幼少時に通院することが多く、そのたびにかかりつけの先生が優しく、時に厳しくしてくださり、とても憧れました。

Q. 診察の際に心がけている事は？

A. インフォームドコンセントを常に意識しておりますが、よりよい診療のため、できる限り一人一人の患者さまに合わせることを心がけております。

Q. 地域医療について

A. 近年更なる高齢化社会において、病診、講演会等も大変重要ですが、地域コミュニティの充実にも期待したいと思います。

Q. ベルランド総合病院への希望・要望

A. 貴院の益々の発展を願っております。

Q. 最後に一言お願いいたします。

A. 今後とも宜しくお願いします。

新規登録医

西区	くげクリニック	くげのぶや 久家 宣也先生
----	---------	------------------

登録医件数 H26.4.20 現在 359 件

セミナー開催予定

5月17日 (土)	第1回ベルランド総合病院 在宅医療推進交流会 ベルランド看護助産専門学校
7月5日 (土)	第9回泉北地区病診連携皮膚科の会 ホテル・アゴララージェンシー堺
7月19日 (土)	第12回堺市南部地域循環器疾患勉強会 ホテル・アゴララージェンシー堺
7月26日 (土)	第6回南大阪医学教育セミナー ホテル・アゴララージェンシー堺

第15回健康塾

熱中症対策

夏 元気に！
乗り切るために！
対策法をお話します。

講師
急病救急部 顧問
坂田育弘

日時：平成26年 **6月12日** (木)

午後2時半～3時

場所：ベルランド総合病院
東A棟8F会議室

お問い合わせ：地域医療連携室
TEL 072-234-2001 (代)



急性期病院の役割を 果たすために。

2014年 2月 就任
急病救急部
顧問 坂田育弘

ベルランド総合病院急病救急部は地域の救急医療に貢献するために、軽度から重症な傷病者の救急診療に消防本部や医師会・医療機関との連携を図りながら、病院内全診療科の協力による救急救命医療を実施しています。また、医師が救急現場に出動して医療を行うドクターカー医療にも積極的に取り組んでいます。

わが国の人口動態は少子高齢化が進んでいます。医療は医師の専門性が強くなり、専門外の診療は拒否する傾向が強くなっています。しかし、救急医療現場では疾病や外傷あらゆる傷病者の診療が要求されます。救急医は全ての初期診療に関り専門医との協力により患者様の急性期病状を改善する使命があります。ベルランド総合病院は急性期医療を実践していくための最高の施設と最良の医療体制で運用しています。救急医療は病院と病院前の医療連携が最も要求される医療です。医師になって42年間を外科と救急医療を実践し救急医の使命を果たしてきました。病院前救急医療に携わる救急救命士教育では初代堺メディカルコントロール協議会会長とし

て堺地域の救急救命士指導に当たりました。また、南河内地域の救急医療体制の構築と運用にも関わってきました。

救急医療は総合医療とチーム医療が必要とされる医療で地域に密着した重要な医療です。小児からお年寄りまであらゆる年代層の救急疾病や外傷の患者様に急性期医療の実践を通じて地域の皆様が何時でも何処でも安心して暮らせる街となることを目指していきます。ベルランド総合病院は大阪府災害協力病院の指定を受けており災害時には地域の災害救急医療に尽くします。

全ての急性期傷病診療は、若い医師達の広い知識と救急処置を学ぶ最高の場でもあります。ベルランド総合病院では若き臨床研修医の急性期医療教育にも積極的に取り組んでいます。何時でも何処でもどんな環境下でも救急処置を実践することを通じてヒトのためになる医師の養成にも尽力致します。



ドクターカー出動時の様子

【 略歴 】

昭和 46年	日本大学大学院
昭和 50年	日本大学医学部第3外科 助手
昭和 51年	近畿大学医学部第1外科 助手
昭和 56年	同 医学部講師
	大阪府立千里救命救急センター 医員
	近畿大学医学部附属病院救命救急センター室長
平成 2年	同 助教授
平成 10年	同 教授
平成 11年	(近畿大学医学部関西国際空港クリニック 所長兼務～12年3月)
平成 14年	近畿大学医学部救急医学教授
平成 17年	(近畿大学医学部奈良病院 救命救急センター長兼務～22年3月)
平成 18年	近畿大学医学部附属病院救命救急センター長
平成 25年	医療法人榎本会榎本病院 副院長
平成 26年	社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 急病救急部 顧問

【 資格等 】

日本救急医学会：指導医
日本外科学会：指導医
日本消化器外科学会：指導医
日本熱傷学会：専門医
日本外傷学会：専門医
日本救急医学会
日本神経救急医学会：ISLS認定ファシリテーター
JICA国際災害救急医療チーム認定登録医

新部長 紹介



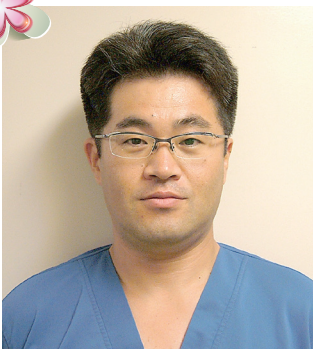
心臓血管外科 部長 南村弘佳

みなみむら ひろかず

日本外科学会：専門医・認定医
日本胸部外科学会：認定医
日本心臓血管外科学会：専門医

【略歴】

昭和 61 年 大阪市立大学医学部 卒業
平成 4 年 大阪市立大学医学部大学院 卒業
平成 4 年 兵庫医科大学胸部外科学 助手
平成 6 年 大阪市立大学医学部外科第 2 教室 助手
平成 8 年 兵庫医科大学胸部外科学 講師
平成 9 年 大阪市立総合医療センター病院
心臓血管外科 医長
平成 14 年 同 副部長
平成 20 年 東住吉森本病院 心臓血管外科 部長
平成 26 年 ベルランド総合病院 心臓血管外科 部長



中央手術部 部長 竹田政史

たけだ まさふみ

麻酔科標榜医
日本麻酔学会：指導医・専門医

【略歴】

平成 6 年 奈良県立医科大学 卒業
平成 8 年 奈良県立三室病院麻酔科 医員
平成 9 年 天理よろづ相談所病院麻酔科 医員
平成 10 年 奈良県立五條病院麻酔科 医員
平成 10 年 りんくう総合医療センター
市立泉佐野病院麻酔科 医員
平成 13 年 奈良県立三室病院麻酔科 医員
平成 16 年 奈良県立医科大学麻酔科 助教
平成 24 年 ベルランド総合病院 麻酔科 医長

新入職医師 紹介

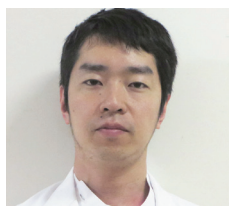


循環器内科



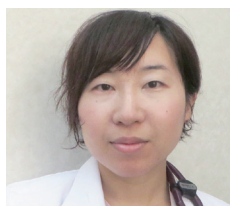
たつみ ひろあき
辰巳 裕亮

平成 13 年卒
日本循環器学会：循環器専門医
日本内科学会：認定内科医



いぐち ともかず
井口 朋和

平成 14 年卒
日本循環器学会：循環器専門医
日本内科学会：認定内科医
日本心血管インターベンション治療学会
：認定医



たけなか よしか
竹中 淑夏

平成 19 年卒
日本内科学会：認定内科医

呼吸器内科



はしもと まさえ
橋本 昌枝

平成 24 年卒



たに けんじろう
谷 憲治郎

平成 24 年卒

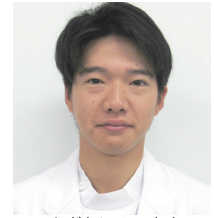


なかつじ けんいち
中達 賢一

平成 24 年卒



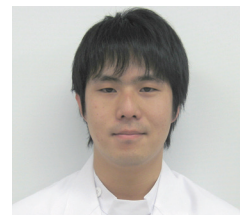
初期臨床研修医



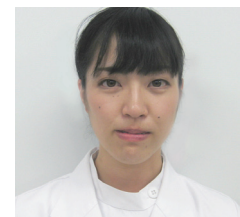
かどたにひであき
門谷 英昭



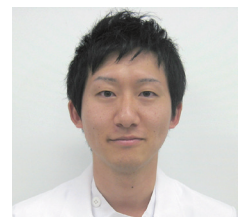
きたぐち みわ
北口 美輪



きむ てわん
金 泰完



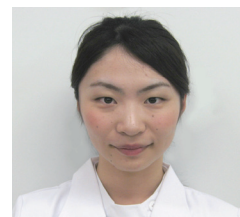
しばた ことこ
柴田 琴子



やまくち かずゆき
山口 一行



やまだ たかゆき
山田 貴之



のむら なお
野村 奈央

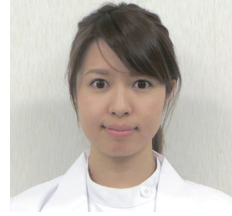
産婦人科



たけい ゆみこ
竹井 裕美子
平成 24 年卒



むろたに つよし
室谷 毅
平成 24 年卒



やまべ
山部 エリ
平成 24 年卒

小児科



たかはし よしひさ
高橋 佳久
平成 24 年卒



たなか としあき
田中 俊光
平成 24 年卒



産婦人科マスコットキャラクター
くまのヘル

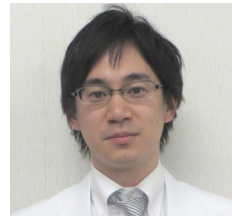
外科



いとう あや
伊藤 文
平成 19 年卒



やまもと かんすけ
山本 堪介
平成 19 年卒
日本外科学会：専門医



かわしま ひろし
革島 洋志
平成 21 年卒

整形外科



ささくら ひでき
笹倉 英樹
平成 21 年卒



たむら かずのり
田村 和則
平成 22 年卒

中央放射線部



のりひさ よしき
副部長 則久 佳毅

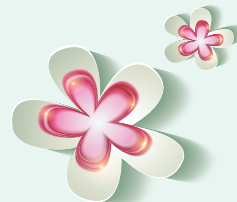
平成 8 年卒
日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会
合同認定 放射線科治療専門医
日本がん治療認定機構認定がん治療医



もりかわ ひろき
森河 紘希

平成 23 年卒

今後とも
どうぞ宜しくお願いいたします。





Excellent License

★ 看護部 リーダー 片山将宏

慢性疾患看護専門看護師を取得いたしました。

慢性疾患看護専門看護師の役割

慢性疾患看護専門看護師の役割とは、「生活習慣病の予防や、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する慢性疾患の管理、健康増進、療養支援などに関する水準の高い看護を行う」ことです。

慢性疾患は領域が広く、各自が得意とする疾患群をサブスペシャリティとして持っています。私の場合は、「脳血管障害」ですが、それ以外の慢性疾患にも対応しています。



面談の様子。
患者さんの不安や心配を出来る限り取り除けるように療養指導を行っています。

慢性疾患看護専門看護師としての活動

私が卒業した「滋賀県立大学 人間看護研究科（修士課程）」では、脳血管障害の患者さんのセルフマネジメント（自己管理）について研究していました。今後の活動でも、慢性疾患とともに生きる患者さんが「病気と折り合いをつけて生活できる」ように療養生活支援を行っていきたくと考えています。

現在は、内科外来を中心に活動しており、主な活動は、脳血管障害の患者さん、糖尿病の患者さん、パーキンソン病等の変性疾患の患者さんを対象に、医師の診察後に療養生活支援を行っています。また、看護師の相談に対応し、一緒に看護問題が解決出来るように支援しています。

今後は、看護専門外来を開設し、多くの患者さんが困った時に気軽に相談できる場としたいと考えています。将来的には、地域に暮らす方々への啓発活動にも力を入れ、当院以外の看護師を対象とした研修を企画するなど、地域医療に貢献していきたくと思っています。

ベルランド総合病院の 専門看護師・認定看護師



専門看護師

がん看護専門看護師 江藤美和子
家族支援専門看護師 井上敦子
慢性疾患感度専門看護師 片山将宏

認定看護師

がん性疼痛看護認定看護師 藤本和美
がん化学療法認定看護師 中村充代
緩和ケア認定看護師 石川奈名
糖尿病看護認定看護師 松尾澄子
救急看護認定看護師 山岡恭子
救急看護認定看護師 友田新二
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 後藤史子
認知症看護認定看護師 石川智子
新生児集中ケア認定看護師 畠山知子
集中ケア認定看護師 奥村 恵
皮膚・排泄ケア認定看護師 山名映己子
感染管理認定看護師 太田真希



専門看護師のバッジ



認定看護師のバッジ



第 10 回ベルランド耳鼻咽喉科セミナーを開催しました。

看護部 科長 中村充代

2014年2月27日(木) ホテル・アゴーラリージェンシー 堺にて第 10 回ベルランド耳鼻咽喉科セミナーが開催されました。

特別講演として奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授 細井裕司 先生をお招きし、『軟骨伝導聴覚 -1000 年に 1 回の発見とスマートフォンなど音響機器への応用 -』というテーマで講演して頂きました。細井先生は、超音波聴覚という分野で国からの研究費を得て、全く聞こえない難聴の方のための超音波補聴器の開発を



されています。当日行った実験で、耳たぶを押さえると音がよく聞こえることを参加者が体験し、三つ目の音波の路があることを知りました。難聴の患者への支援に繋がることに挑戦されている姿を拝見し、あきらめない医療の形を垣間見ることができました。



耳鼻咽喉科領域は聴く、嗅ぐ、味を楽しむ、言葉を伝えるなど日常生活に密接に繋がりがあり、それらが障害された場合の辛さ、大変さはその人でなくては表せないでしょう。私たち医療チームはその患者の心に寄り添い、患者が望む支援をしていきたいと心から思った一日でした。

健康塾

社会医療法人 生民会
ベルランド総合病院

ベルランド総合病院では、地域の皆さまの健康推進に役立つことを目的に、専門家による「健康塾」を開催しています。ご参加は無料ですので、お気軽にお越しください。



第 12 回 キズの 110 番

「形成外科はキズの 110 番!」と題して、傷に対する処置や傷あとについて形成外科 部長 坂井靖夫 医師がお話しました。形成外科の役割や怪我のことなど、実際に役立つ話が多く、とても参考になったとの声をいただきました。



第 13 回 脳卒中 SOS

突然おとずれる病気、脳卒中について、脳神経外科 部長 浦西龍之介 医師がお話しました。血管を痛める様々な要因や再発予防など、日常から気をつけることを丁寧に解説し、質問コーナーでは活発な質疑応答がされました。



第 14 回 がんに効く? 薬の話

がん専門薬剤師の薬剤部 主任 渡邊裕之が、抗がん剤の役割や吐き気止めの進化等についてお話しました。ご来場の方からは「知ることによって不安がなくなった」「日頃、考えていたことにきちんと答えてくれた」とのお声をいただきました。

お問い合わせ
地域医療連携室
072-234-2001 (代)

今後の予定

第 15 回健康塾 熱中症対策

6/12 (木) 14:30 ~ 15:00
急病救急部 顧問 坂田育弘 医師



「赤ちゃんにやさしい病院」認定 記念講演会を開催して

助産師 主任 菅野 愛子

昨年 8 月、ベルランド総合病院は「赤ちゃんにやさしい病院 (Baby-friendly hospital ; BFH)」に認定されました。これを記念して、今年 2 月 22 日にスイスホテル南海大阪において認定記念講演会を開催しました。

第 1 部の一般演題は、私が BFH 認定取得に至るまでの当院における母乳育児支援の経緯を説明しました。

第 2 部の特別講演では、元東京女子医科大学名誉教授の仁志田博司先生による『周産期医療から学ぶ共に生きるあたたかい心』のご講演があり、周産期医療関係者を中心とする 178 名もの参加者の皆様とともに、新生児医療、周産期医療の発展と、子どもを慈しむ心を深く学ばせていただきました。



元東京女子医大
母子総合医療センター所長・教授
仁志田 博司 先生

当院は 1992 年から母乳育児推進に取り組み、翌年の母子同室・生後 2 週間健診の開始等により飛躍的に母乳率が上昇しました。しかし、昨今は身体・精神・社会面全てにおいてリスクの高い妊娠・分娩が増え、母乳育児の実践が困難な状況にあります。そのような中でも、私たちは一方的に母乳栄養を押しつけるのではなく、共に育児を行っていくパートナーとして育児支援をするという姿勢で、一人でも多くの母と子、そしてご家族に「母乳で育てられる幸せ」を感じて頂きたいと願って、今後も母乳育児支援を続けたいと考えています。



府下の医師、看護師、
助産師の方々が多く
参加されました。



産婦人科レビュー・コースを受けて

小児科 副医長 脇本 剛

2 月 8 日、9 日と産婦人科レビュー・コースが開催されました。対象は主に専攻医で、例年 50 名程度の応募があり、昨年までは府中病院が会場でしたが、第 4 回を迎える今年は全国各地から 100 名を超える応募があったため、会場が急遽ホテル・アグラリージェンシーに変更されました。

レビュー・コースとは、エビデンスに基づいた臨床スタンダードを第一線で活躍される先生方がまとめて講義するというもので、米国ではよく開催されているもので



講師陣による質疑応答

す。本コースは米国で長年教授職にあった村田雄二周産期母子医療センター所長の発案で始まり、今年も日本の名だたる教授を始めとする豪華な講師陣が集まりました。

レクチャーだけでなく、質疑応答が非常に活発であることが特徴です。参加者が日常の診療の疑問点を投げかけ、講師陣がエビデンスに基づいて答えていきます。

知識のアップデートに役立つと地域の先生方の参加も増加しております。来年も開催予定ですので、是非ご参加下さい。



周産期母子医療センター
所長 村田雄二
2013 年 10 月に厚生労働省より
産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。

ベルランド総合病院への交通

電車とバスをご利用の場合

泉北高速鉄道「深井駅」より

南海バス〈泉ヶ丘行き・あみだ池行き〉

東中学校前バス停下車徒歩1分

または〈北野田駅前行き〉高山バス停下車徒歩5分

南海高野線「北野田駅」より

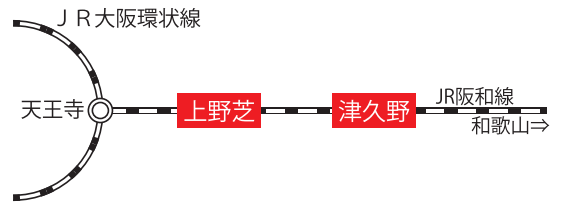
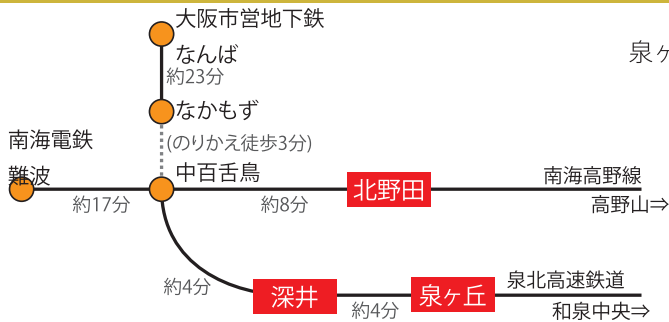
南海バス〈西区役所前行き・東山車庫前行き・深井駅行き〉

高山バス停下車徒歩5分



送迎バスのご案内

泉ヶ丘駅・北野田駅・上野芝駅・津久野駅・深井駅の5駅から発着



泉ヶ丘駅発	ベルランド総合病院発泉ヶ丘駅行き
7:30-13:45 まで 毎時 00・15・30・45 分発 14:00-19:30 まで毎時 00・30 分	7:20-13:50 まで 毎時 05・20・35・50 分発 14:20-19:20 まで毎時 20・50 分
北野田駅発	ベルランド総合病院発北野田駅行き
8:45-17:15 まで毎時 15・45 分発	8:30-17:00 まで毎時 00・30 分発
上野芝駅発	ベルランド総合病院発上野芝駅行き
8:35-15:35 まで毎時 35 分発	8:15-15:15 まで毎時 15 分発
津久野駅発	ベルランド総合病院発津久野駅行き
8:20-15:20 まで毎時 20 分発	8:00-15:00 まで毎時 00 分発
深井駅発	ベルランド総合病院発深井駅行き
8:35-15:35 まで毎時 35 分発	8:00-15:00 まで毎時 00 分発

